



外国人技能実習生を受け入れました

5月より外国人技能実習生としてインドネシアから「チンティア・ヌル・インダー」さんが栄養部で働いています。

仕事の合間にインタビューしてみました。

- Q：出身地を教えてください。
- A：インドネシアのカラワンです。
- Q：日本に来た感想は？
- A：楽しいです。
- Q：青山病院で働いてどうですか？
- A：楽しいけど漢字が難しいです。
- Q：得意な料理は何ですか？
- A：チャーハンとルアンダン（牛肉炒め）
- Q：趣味は何ですか？
- A：バトミントン
- Q：好きなタレントは？
- A：NCT・BTS



最後に一言お願いします。

残念ながら3年間の勤務ですが宜しくお願ひいたします。

リハビリテーション科 臨床実習生の受け入れ

5月から広島国際大学4年生の理学療法学専攻科から1名実習生を受け入れました。実習期間は2ヶ月で、内容は実習生が患者様を担当し評価から治療まで考え安全且つ正確に行えるよう先輩理学療法士が付き添い指導していきます。

その他、リスク管理やカルテなどの書類指導、他職種との連携なども教育していきます。また当院の特徴である「透析患者に対するリハビリテーション」や「維持・生活期のリハビリテーション」について一緒に考え学んでいます。

理学療法科の学生は約6ヵ月間医療福祉現場で実習を受けた後、卒業試験、国家試験に合格したら4月から理学療法士として活躍が出来るようになります。

今回当院で体験し学んだことが1つでも多く次に活かせるように私たちもさらに勉強し分かりやすく指導教育できるよう実習生とともに奮闘中です。

他職種の皆様ともたくさん関わる事があると思います。適時指導とご協力をお願いします。



雨と傘

6月といえば梅雨、雨や傘を連想される方も多いと思います。日本でも雨の日に傘を差すのは当たり前、もし雨の日に傘を差さずに歩いている人を見ると「この人大丈夫？」と思ってしまう。

しかし欧米では雨の日に傘を差す人は少なく、濡れながら歩くことにそれほど抵抗はないようです。

国によって違いがあるようですが、雨の日の少ない、降っても一日中降り続いても土砂降りにならず霧雨のような雨が多い、強風を伴う雨が多く傘が役に立たないとか、そもそも性格的に傘を差すのが面倒、などいろいろな事情があるようです。

また雨の日の肌寒い時でも半袖で歩く人が多いそうで、これは日本人の平熱が36度前後に対して欧米人の平熱は37.38度もあり、寒さを感じにくく、濡れた体で歩いても風邪などをひくことはあまりないそうです。

傘と言えば、英国では紳士が傘を持つて歩いているイメージがあり、王室御用達高級ブランドの傘も有名ですが、英国紳士は、傘を雨を防ぐために広げて使わず、細く巻いたままステッキがわりに使用するの「みだしなみ」なのだそう。

世界と比べてみると雨の日に必ず傘をさす日本人は雨が嫌いなのではと考えてしまいますが、英語で雨を示す名詞が雨(rain)、霧雨(drizzle)、嵐(storm)など多くても15種類程度なのに対し日本語で雨を示す名詞は400種類ほどもあり、このことから日本人は雨の風情を楽しむことに長けた民族であることがわかります。

なにかと鬱陶しい梅雨の季節ですが、雨を楽しみたいものですね。



診療案内

月曜日～金曜日 午前：9時～12時 午後：4時～6時

土曜日 午前：9時～12時 午後：休診

休診日：日曜・祝日・年末年始(12月31日～1月3日)・お盆(8月15日)

担当医 ※今月から脳神経内科の担当医が井門医師に変更となりました。

月曜日 午前：青山 午後：大村 木曜日 午前：大村 午後：宮里

火曜日 午前：大村 午後：宮里 金曜日 午前：宮里

水曜日 午前：佐伯 午後：原・板倉(腎臓内科) 午後：井門(脳神経内科)

土曜日 診療は午前のみ：宮里(第1) 佐伯(第2・第4) 大村(第3・第5)



季節の風景



あじさい